



## 『第26回 東京校歌祭』 報告

### 芦花高校の生徒と一緒に校歌を凛々しく歌いました

11月3日(土) 『第26回東京校歌祭』

晴天に恵まれた暖かな晩秋の文化の日「第26回東京校歌祭」が、一昨年までの会場でした杉並公会堂で開催されました。今回の参加団体は新たに加わった高校はなく、都内の高校同窓会20校で行いました。今年は本校の出番が早く、芦花高校の合唱部は昼食時間が取れないのでこちらで食事を準備し会場でもってもらいました。

12:30に開会式のプラカード入場者がステージに並ぶと、宇津木会長の挨拶、杉本実行委員長の開会宣言で始まり、一番はバンド演奏付きの石神井高校が開会のファンファーレに続き校歌・十四中校歌・応援歌を披露しました。つづいて旧制府立高等女学校の白鳳(第一高女)、竹早(第二高女)、三商、千歳・芦花、両国、小石川、小松川、新宿、武蔵丘、バンド伴奏の小山台の各校が歌い前半を終えました。中休みでは全員合唱で「故郷」を歌い休憩に入り、後半は来賓挨拶のあと全員合唱「花は咲く」で始まりました。バンド伴奏の九段、隅田川、江北、豊多摩、一商、立川、戸山、西、そして最後がバンド演奏付きの文京でした。来場のお客様は例年並みでしたが参加者を含め、大いに盛り上がりました。



第26回 東京校歌祭 2018/11/3 府立十二中・千歳高校・芦花高校校歌

今年度も千歳高校・誠之会は、芦花高校の合唱部の参加もあり、29名で「健児の歌、千歳高校校歌、芦花高校校歌(芦花という名の学びに庭に)」を、凛々しくまた優美に歌いました。今年も指揮は廣瀬泰文さん(32期)、ピアノ伴奏は小鹿紡さんにお願しました。最後に歌った芦花高校校歌は、練習の成果が生きてよい合唱になりました。

校歌祭終了後は、公会堂地下のホールで懇親会が開催され、楽しく飲食をしながら、いろいろな話に花が咲きました。今回も他校との交流と有意義な催しを行

い誠之会では、「学園思慕の歌」を披露しました。昨年、他校から芦花高校との合同を大切にとの声を生かし、今年の合同演奏も大成功でした。